

# 阿権青鳩

学校だより 4月号

伊仙町立阿権小学校  
令和4年4月6日発行

## 阿権の魅力！

校長 曾田 巖

令和4年度が始まりました。まん延防止等重点措置の解除後も感染拡大が止まらない、安心できないコロナ禍の中でのスタートですが、まずは、子供たちの安全を最優先に考え取り組んでいきたいと考えています。

近年にない多さの、6名の卒業生が巣立っていきました。今後、本校は児童数の減少が加速していくことが予想され、阿権小を存続させるためにはどうしたらよいのかを真剣に考えなければならない時期にきています。阿権愛を生かした児童増への戦略を図っていきたくて考えています。

阿権の特色（地域で子供を育てる）を最大限に生かして本校の魅力を高めていく努力が求められており、多くの方々の御知恵、御支援、御協力を賜りますようよろしくお願い致します。



## 令和4年度教職員人事異動のお知らせ

令和4年度県教職員定期人事異動での、本校からの転退職者の対象者はありませんでしたのでお知らせいたします。なお、馬根小と本校の兼務者である宮後明子先生（事務主幹）は霧島市立小浜小学校へ転出となり、その後任には、鹿児島市立西谷山小学校から園田麗子先生（事務主査）が転入することになりましたのでお知らせいたします。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 海ガメがやってくる浜に！

3月8日（火）に、5・6年生が総合的な学習の時間の授業で阿権浜に行きました。ゲストティーチャーに西村奈美子先生をお迎えして、海ガメが阿権浜にやってくる理由について考えたり、阿権浜にはどんな生き物がいるかを調査したりしました。

天気にも恵まれ、また、運も味方し、2匹の海ガメを観察できました。海ガメの種類や見分け方、人間が捨てたごみを食べて海ガメが被害を受けている現状も教えていただきました。また、グループに分かれて生き物探しをし、仲間分けや名前や特徴について学びました。子供たちは興味津々で生き物と触れ合っていました。最後に、西村先生から「なぜ、私たちは海ガメを守るのか」という宿題をいただき、真剣に考えていました。なかなかできない学習で、阿権の子たちは幸せだなあと感じました。



## 巣立ち行く6羽の阿権青鳩！

3月24日（木）、春の穏やかな日差しがこぼれる陽春の日に、第74回卒業式を挙行了しました。皆様には、6名の若い青鳩の巣立ちを見届けていただき、感謝申し上げます。

今回も、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、式次第の変更や規模の縮小などを余儀なくされました。一生に一度の卒業式、残念でなりませんが生涯心に残る卒業式だったと思います。

さて、健太郎さん、智哉さん、雄大さん、聖さん、柚莉奈さん、美咲さん、御卒業おめでとうございます。これまで、それぞれの良さや個性を生かしながらもお互い切磋琢磨してきましたね。また、最上級生として、みんなを明るく元気に引っ張ってくれました。ユーモアに富み、何事にもパワー全開の立派な6年生でした。

中学校では、同級生が増えます。人間関係を広げ、たくさんの刺激、広い視野から自分以外の「多様な考え方」を素直に受け入れ、これまでの自分の「見方・考え方」を見直し、次元の高い「見方・考え方」へと高めてほしいと思います。また、学ぶことの大切さを認識して、意欲的に学び続け、新しい自分にどんどん挑戦してほしいと思います。今後も、阿権校区の大応援団の皆様には、6名を末永く温かく見守っていただけたらと思います。



### 4月の行事予定

- 5日(火) 入学式準備
- 6日(水) 始業式、入学式
- 7日(木) P T A 役員会・総会
- 11日(月) 家庭訪問～12,13日
- 13日(水) 歯科検診
- 14日(木) 交通教室
- 15日(金) 授業参観、学級P T A
- 19日(火) 全国学力学習状況調査～20日
- 21日(木) 田植え
- 22日(金) 1年生を迎える会
- 25日(月) 標準学力検査～26日
- 26日(木) 内科検診
- 27日(水) 眼科検診・知能検査
- 28日(木) 心臓検診

### 5月の行事予定

- 2日(月) 島っ子ガイド（神之嶺小）
- 9日(月) 校内読書週間～14日
- 11日(水) 不審者対応訓練
- 12日(木) 体力運動能力調査  
ハブ咬傷予防教室  
耳鼻科検診
- 14日(土) 土曜授業
- 20日(金) 大島教育事務所訪問
- 23日(月) 修学旅行～26日
- 27日(金) 1～4年一日遠足
- 30日(月) 避難訓練（地震・火災）



※ 4・5月行事については、変更する場合があります。

## 御礼！

校長の岩元です。保護者や地域の皆様には、日頃から阿権小学校の教育活動に対しまして御理解・御支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、私は、37年間の教師人生にピリオドを打つことになりました。教師人生の最後を締めくくべく赴任した阿権小学校は、「公園の中の学校」と称されるほど美しく、地域との結びつきが極めて強い、まさに地域の中核として愛される学校でした。

子供たちは、僅か20名ですが、非常にパワフル。向上心が強く、頼もしい子供たちです。何より感心したのは、阿権に対する愛情（中高生も含めて）です。その象徴的な事柄を二つ紹介したいと思います。

まず一つは、島っ子ガイドです。これは、阿権の魅力（石垣群や前里屋敷、三百年ガジュマル、阿権神社等）を子供たちが実地でガイドする活動です。今年度は、コロナ禍の影響でなかなか活動できませんでしたが、10月に伊仙町親子チャレンジ教室とタイアップして実施しました。ガイド終了後、ある母親が「本当にすばらしかったです。子供を阿権小に転校させたいです。」と真顔でおっしゃいました。なかなか聞けない感想ではないでしょうか。

もう一つは、中高生応援隊です。阿権校区の中高生も、阿権が大好きで学校行事の支援をよくしてくれます。特に、運動会の支援は圧巻です。子供会長（高校3年生）の号令（「気合い入れていくぞ」）でスタンバイ。子供たちと一緒に入場します。学校職員との打ち合わせもほとんどなしで、率先して係の仕事をごなし、後片付けまできっちりを行います。そんな中高生は、子供たちの憧れです。地域が子供たちに惜しみなく愛情を注ぎ、子供たちがしっかりと受け止めて愛情を返します。そんな素敵な循環が根付いています。本当にすばらしいことだと思います。

また、手前味噌ながら、同僚の先生方にも恵まれました。全員が同じ方向を向いて、子供たちの教育に邁進しています。手間暇を惜みず、苦勞を厭わない姿に、頭が下がる思いでした。

この2年間、楽しいことばかりでした。こんな素晴らしい学校に赴任させていただき、幸運だと思います。本当にありがとうございました。

## 何とも見事な試合でした！



2月28日（日）に、バレーボール少年団の送別大会が行われました。

阿権バレーボール少年団は、難なく予選を勝ち上がり、決勝トーナメントでも準決勝に進出。犬田布バレーボール少年団と対決しましたが、惜敗しました。しかし、2セット目の粘りはすばらしいものでした。みんな感動しました。

君たちこそ、優勝だよ。そんな気分になりました。何とも見事な試合を見せてくれましたね。ありがとう！

## 午前5時間制一部導入について！

令和3年度、阿権小学校では、次の理由から、午前5時間制を一部導入します。

- 1 午後に時間を生み出し、島口に親しむ活動や島っ子ガイドの練習、読み聞かせ等を行う（地域の方々との連携）を行うことができます。
- 2 子供たちにゆとりが生まれます。
- 3 授業時数が確保できます。

※ コロナ禍の中、緊急事態にも対応できます。

また、伊仙町では、次のような視点で、地域の人的関係資源を基盤にした集落・小学校単位のまちづくり（第2期伊仙町まち・ひと・しごと創生総合戦略より）を進めています。

- 1 学校を核とした地域社会の活性化  
学校と地域が連携・協働し、地域における学習支援や体験活動などの取組を推し進めます。
- 2 徳之島学＝地元学を共通言語としたまちづくり  
徳之島や地域を知ること、島に対するプライドや愛着を高め、いずれ地域づくりの主体となる人材を作り出します。
- 3 集落の歴史・伝統文化の継承  
各集落の伝統、文化、地縁、価値感、自然との繋がりを大切に、結を形成し、地域資源としての伝統文化継承の活動に取り組みます。

午前5時間制の一部導入は、伊仙町のまちづくりにも、寄与するものと考えています。

## 島っ子ガイド（阿権浜編）！

3月8日（月）、島っ子ガイド（阿権浜編）を実施しました。「卒業を控えた6年生に在校生への島っ子ガイドをしてもらおう」ということで、歩健学教室の西村先生・奈美子さんが、6年生と一緒に計画してくださいました。

そして、今回の目玉は、何とんでも「阿権浜」をガイドするということです。新作にもかかわらず、6年生の子供たちは、阿権浜の美しさ、環境のすばらしさなどをていねいに分かりやすく説明してくれました。在校生も、興味深く聞き入っていました。

阿権小島っ子ガイドは、また一つすばらしい財産を手に入れることができました。しっかりと受け継いでいきます。西村先生・奈美子さん、本当にありがとうございました。

